

エコ・アクションプラン2018

管理項目（2018年度実績）

目標及び計画策定を必須とはしないが、活動レベルの改善・向上に努める項目、あるいは既に目標レベルに達し、通常の環境活動の中で対応する項目

領域	管理テーマ	項目	評価
自社の環境負荷削減	①地球温暖化防止	1 物流によるエネルギー使用量原単位の削減（前年度比-1%）	×
		2 物流によるCO ₂ 排出量（絶対値）の継続的な削減	×
		3 エネルギー由来のCO ₂ 排出絶対量の継続的な削減	○
		4 エネルギー使用量原単位の削減-7.73%〔低炭素社会実行計画〕	○
	②汚染防止（大気・水質）	5 NOx、SOx排出量を2012年度比1%以上削減（但し、CO ₂ 排出量削減を目的とした施策によるNOx増加は対象外とする）	○
		6 BOD、COD排出量を2012年度比1%以上削減	○
	③資源有効利用促進	7 ゼロエミッションの維持100%	×
		8 廃棄物排出量（一般廃棄物＋産業廃棄物）を2012年度比1%以上削減	○
		9 紙購入量（コピー、EDP用紙）は2005年度レベルを維持、もしくは削減に努める	○
		10 水使用量（市水・工業用水・地下水）を2012年度比1%以上削減（対象：1万m ³ /年以上使用）	○
		11 紙、プラスチック包装材使用量は2005年度レベルを維持、もしくは削減に努める（対象：容器包装リサイクル法）	○
		12 使用済み製品回収量	○
		13 回収した使用済み製品の資源再利用化率90%を継続	○
	④化学物質使用量削減	14 化学物質購入量（PRTR法対象物質）を2012年度比1%以上削減	○
		15 揮発性有機化学物質（VOC）排出量を2012年度比1%以上削減	△
サイト（生産・オフィス）の環境リスク対策	⑤法令順守（届出・報告・排出）対応	16 法令遵守を100%実施（届出、報告、排出）	○
		17 化学物質収支管理を100%実施（PRTR法対象物質）	○
		18 化学物質MSDS未整備物質購買規制100%	○
	⑥環境アセスメント	19 設備・化学物質、新規廃棄物の事前評価、製法アセスメント実施100%	○
		20 環境アセスメント実施100%（工場・建物の新設、撤去時）	○
製品の環境リスク対策	⑦法令順守（製品含有化学物質規制）対応	21 製品環境法令プロセスの整備 ・各SBUにおいてEU出荷時の必須ルール化、維持運用	○
		22 全製品のRoHS適合（対象外製品除く）	○
	⑧製品・ソリューションの環境負荷低減	23 機器の外装筐体用プラスチックへの臭素系難燃剤未使用率95%を継続 ・臭素系難燃剤未使用率で進捗管理	○
		24 機器の外装筐体用プラスチックへのエコプラスチック使用拡大 ・エコプラスチック使用率で進捗管理	○
		25 ソフトウェア 製品の環境アセスメント実施率：100%維持	○
		26 ソフトウェア製品の環境影響評価対象製品の評価実施率：100%維持	○
		27 エコシンボルの継続取得（重点活動項目より移行） ・「エコシンボル運用規定」に基づく運用	○
環境コミュニケーション	⑩情報発信、地域貢献の促進	28 環境広報の推進	○
		29 地域貢献（生物多様性保全含む）の推進、自治体等への協力の推進	○

【評価の判定基準】 ○：達成率100%以上 △：達成率80%以上～100%未満 ×：達成率80%未満